

「瀬戸市子ども総合計画」改定のための アンケート調査結果の概要

1. 調査概要

調査目的	○瀬戸市子ども総合計画の改定を進めるための基礎資料として、本市の子ども・若者と保護者の現状を捉えるためにアンケート調査を実施した。																																						
調査期間	○令和5年12月	調査方法	調査の回答URLを郵送配布し、WEB上で回収																																				
回収状況	<table><tr><th colspan="2">調査票の種類</th><th>配布数(件)</th><th>有効回答数(件)</th><th>有効回答率(%)</th></tr><tr><td rowspan="4">子ども・若者</td><td>小学5年生児童</td><td>1,135</td><td>754</td><td>66.4</td></tr><tr><td>中学2年生生徒</td><td>1,144</td><td>625</td><td>54.6</td></tr><tr><td>17 歳(高校2年生相当)</td><td>1,158</td><td>354</td><td>30.6</td></tr><tr><td>青年(19 歳～29 歳)</td><td>996</td><td>185</td><td>18.6</td></tr><tr><td rowspan="3">保護者</td><td>6歳児保護者</td><td>1,003</td><td>440</td><td>43.9</td></tr><tr><td>小学5年生保護者</td><td>1,135</td><td>514</td><td>45.3</td></tr><tr><td>中学2年生保護者</td><td>1,144</td><td>349</td><td>30.5</td></tr></table>				調査票の種類		配布数(件)	有効回答数(件)	有効回答率(%)	子ども・若者	小学5年生児童	1,135	754	66.4	中学2年生生徒	1,144	625	54.6	17 歳(高校2年生相当)	1,158	354	30.6	青年(19 歳～29 歳)	996	185	18.6	保護者	6歳児保護者	1,003	440	43.9	小学5年生保護者	1,135	514	45.3	中学2年生保護者	1,144	349	30.5
調査票の種類		配布数(件)	有効回答数(件)	有効回答率(%)																																			
子ども・若者	小学5年生児童	1,135	754	66.4																																			
	中学2年生生徒	1,144	625	54.6																																			
	17 歳(高校2年生相当)	1,158	354	30.6																																			
	青年(19 歳～29 歳)	996	185	18.6																																			
保護者	6歳児保護者	1,003	440	43.9																																			
	小学5年生保護者	1,135	514	45.3																																			
	中学2年生保護者	1,144	349	30.5																																			
選択肢の省略表記について	以下の文中には、「○○○」と“○○○”と2種類の表現がある。 「」は、一つの選択肢のもの、“ ”は複数の選択肢を合わせたものを表している。 ※(表記例)「そう思う」…「そう思う」のみ。 “そう思う”…「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせたもの。																																						

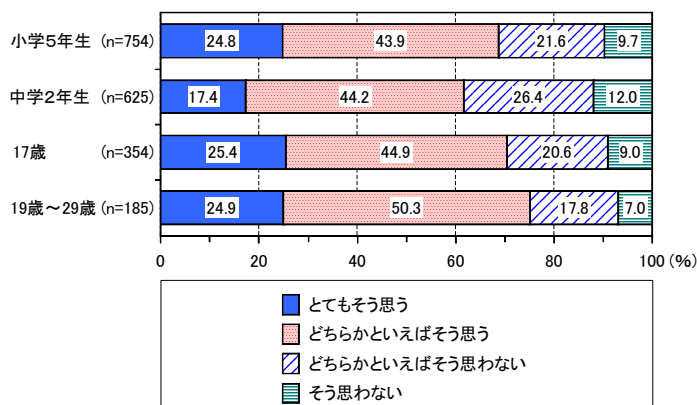
2. 主な調査結果

2-1 「子ども・若者」の調査

(1)自分自身について

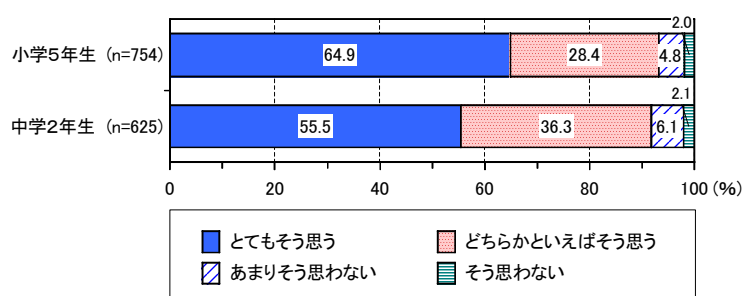
①自分のことが好きか

- “そう思う”が60～75%程度と学年・年齢で差がある。19～29歳が最も高い。
- 「そう思わない」はそれぞれ10%程度。



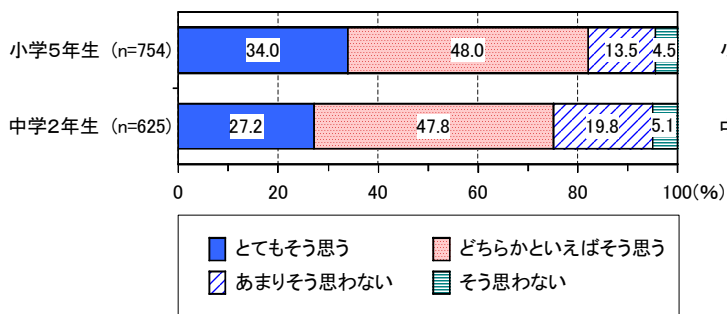
②自分は家族に大事にされている

- “そう思う”が90%以上。
- “そう思わない”が8%程度あり、学年が上がると高い。



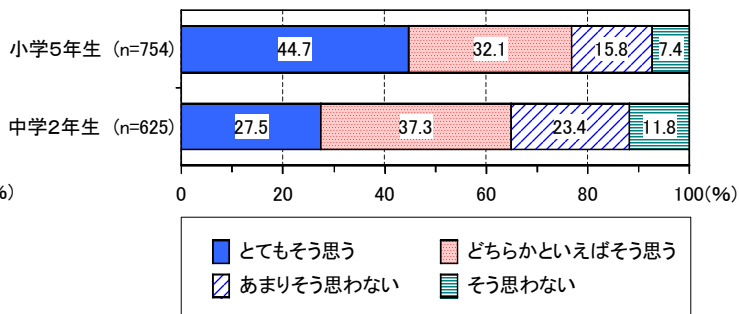
③目標に向かって頑張ることができる

- “そう思う”が80%程度。
- 学年が上がると“そう思う”が低くなる。



④自分の将来が楽しみだ

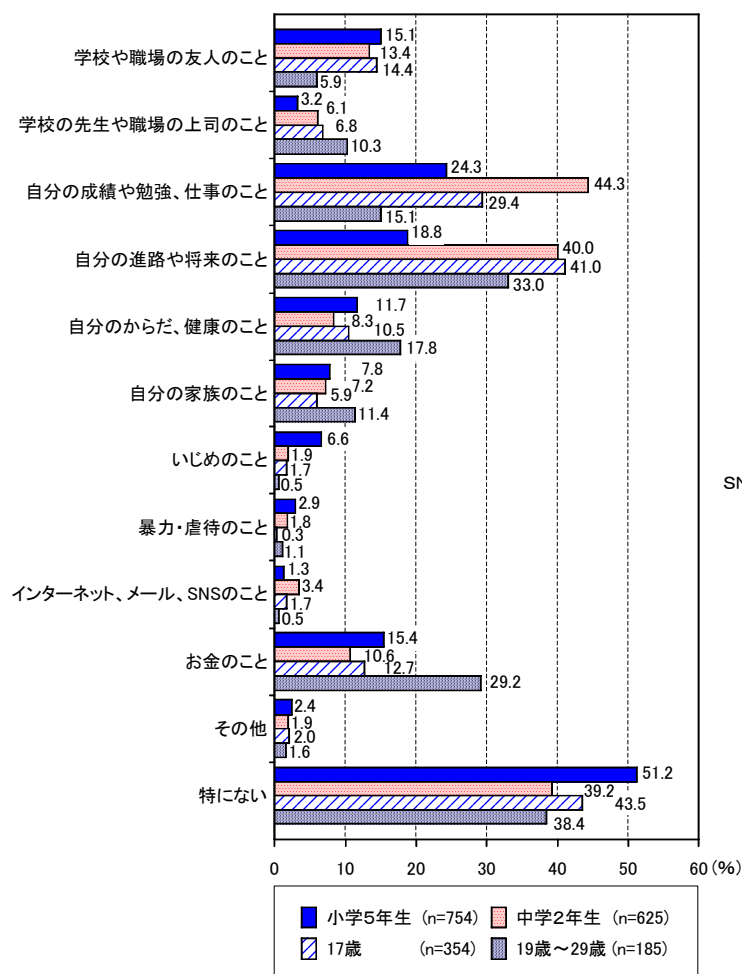
- 小5は“そう思う”が80%程度だが、学年が上がると65%程度に下がっている。



(2)悩みや困りごとについて

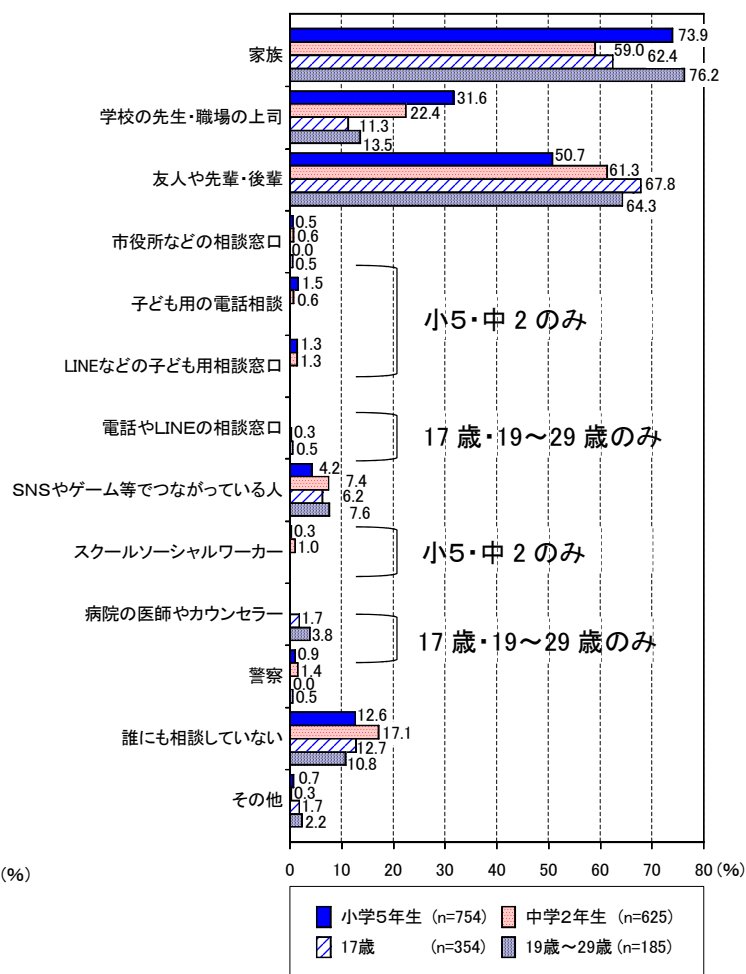
①悩みや困りごと【複数回答】

- 「特になし」は、小5が 51.2%、中2が 39.2%、17 歳が 43.5%、19～29 歳が 38.4%。
- 小5、中2は「自分の成績や勉強、仕事のこと」、17 歳、19～29 歳は「自分の進路や将来のこと」が最も高い。「いじめのこと」「暴力・虐待のこと」も各学年・年齢でわずかだがある。



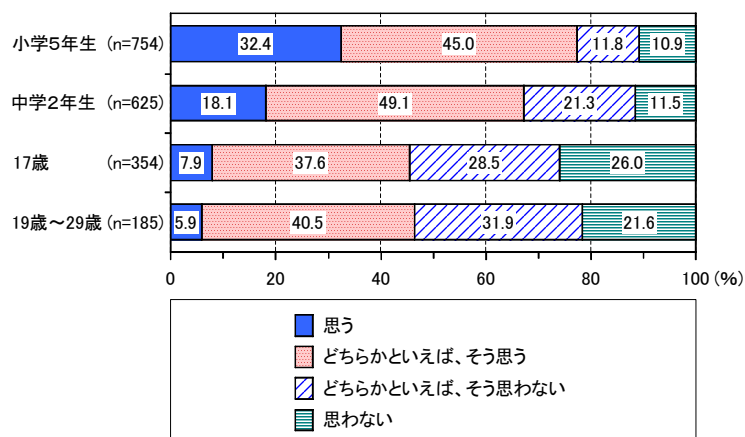
②悩みや困りごとの相談先【複数回答】

- 小5と 19～29 歳は「家族」、「友人や先輩・後輩」。
- 中2と17歳は、「友人や先輩・後輩」、「家族」。
- 「SNSやゲーム等でつながっている人」が10%弱。
- 「誰にも相談していない」が10～20%程度。



③気軽に相談できる窓口が整っているか

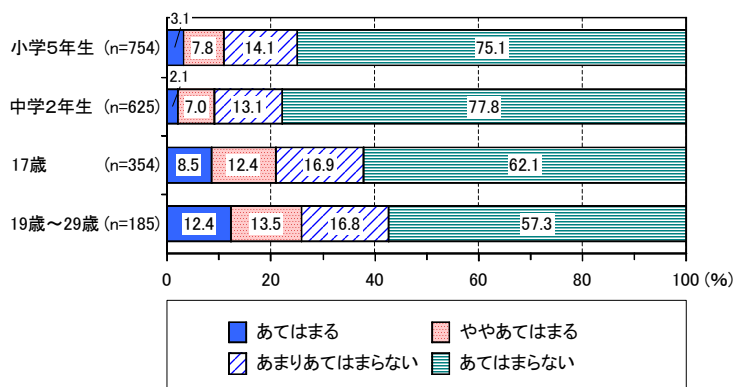
○ “そう思う”は小5が 77.4%で最も高く、学年・年齢が上がると低くなる。



(3)虐待やいじめについて

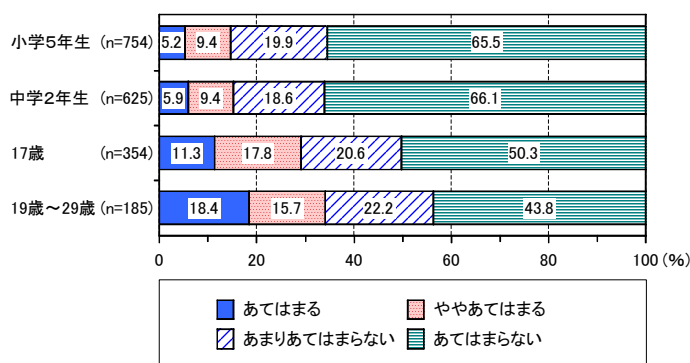
①親にたたかれたり、なぐられたりしたことがある

○ “あてはまる”は小5と中2は 10%程度。17 歳は 20.9%、19～29 歳は 25.9%。



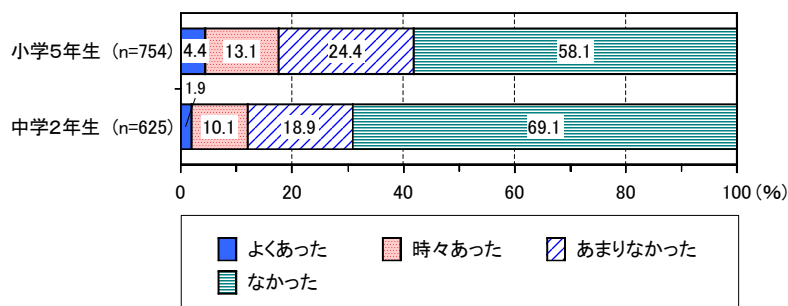
②親に心を傷つける言葉を言われたことがある

○ “あてはまる”は小5と中2は 15%程度。17 歳は 29.1%、19～29 歳は 34.1%。



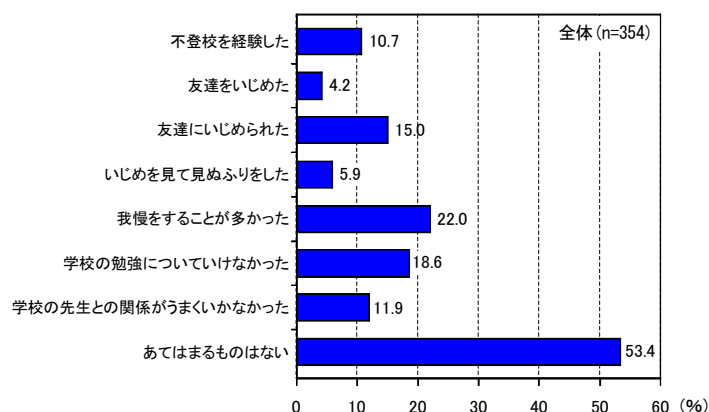
③いじめの経験

○ “あてはまる”は、小5と中2は 15%程度。



④学校で経験したこと【17歳】【複数回答】

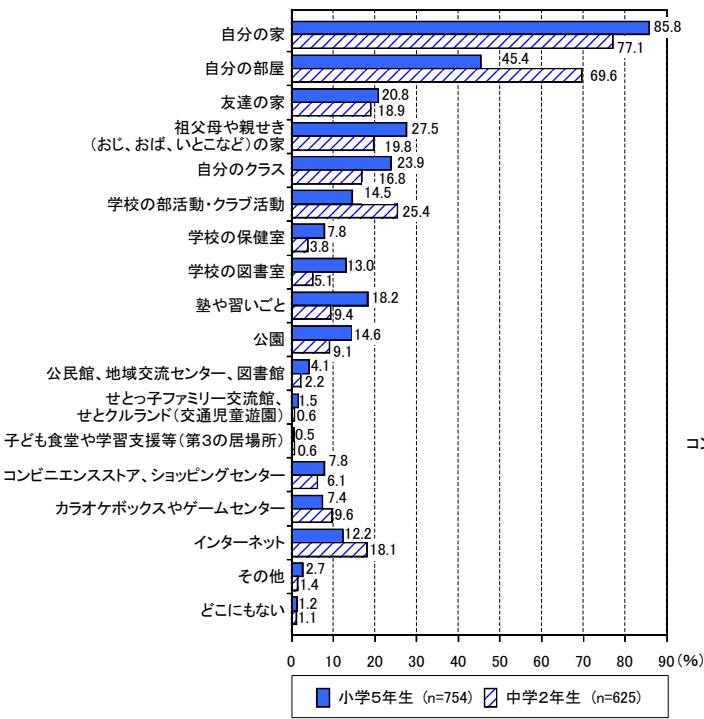
○ 17 歳は、「あてはまるものはない」を除くと、半数が何らかの経験をしている。その内容は、「我慢することが多かった」、「学校の勉強についていけなかった」、「友達にいじめられた」など。



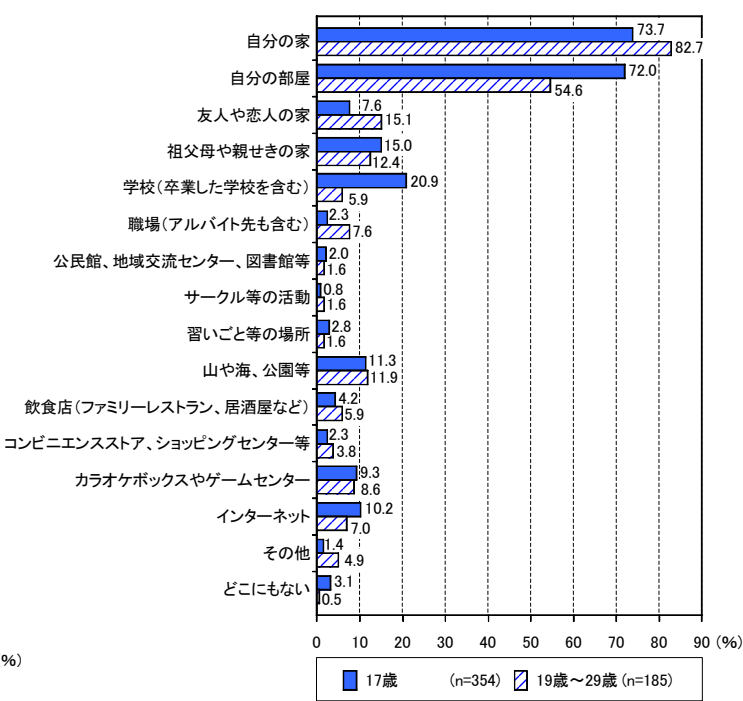
(4)子どもの居場所について

①ほっとする場所【複数回答】

- 学年・年齢によりばらつきがあるが、「自分の家」「自分の部屋」が高い。
- 「インターネット」は10～20%程度。
- 「どこにもない」がわずかだがある。



小学5年生・中学2年生

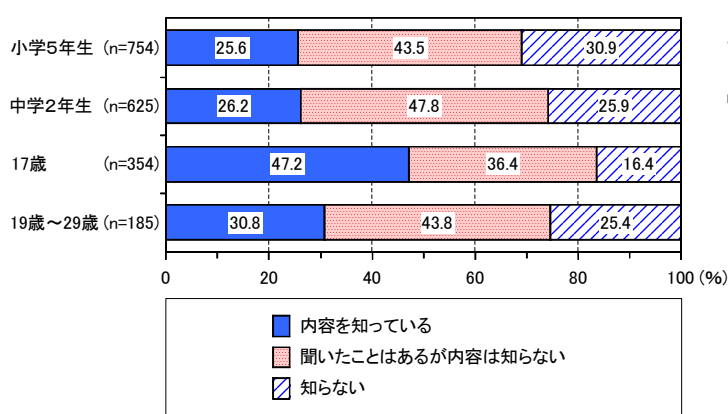


17歳・19歳～29歳

(5)子どもの権利について

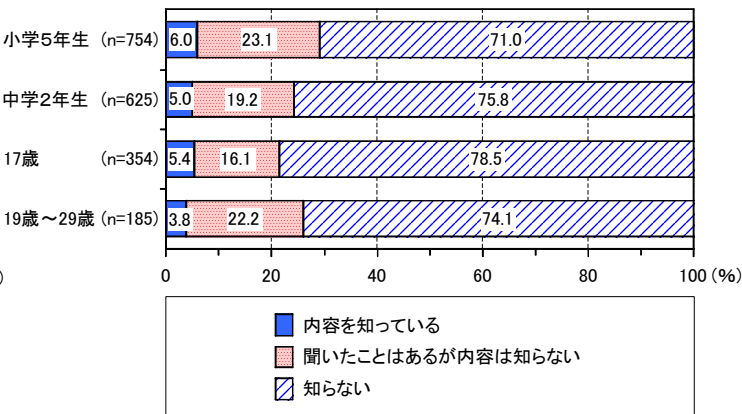
①子どもの権利の認知度

- 子どもの権利の認知度(「内容を知っている」+「聞いたことはあるが内容は知らない」)は各学年・年齢とも70%以上と高い。
- 「内容を知っている」は17歳では47.2%。



②瀬戸市子どもの権利条例の認知度

- 瀬戸市子どもの権利条例の認知度(「内容を知っている」+「聞いたことはあるが内容は知らない」)は各学年・年齢とも25%前後。
- 「内容を知っている」は5%前後。

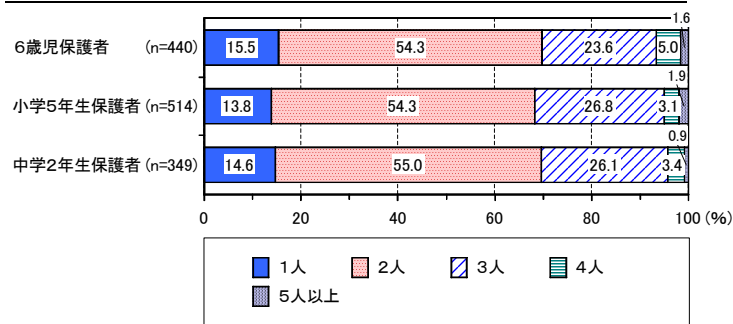


2-2 「保護者」の調査

(1)子どもの人数について

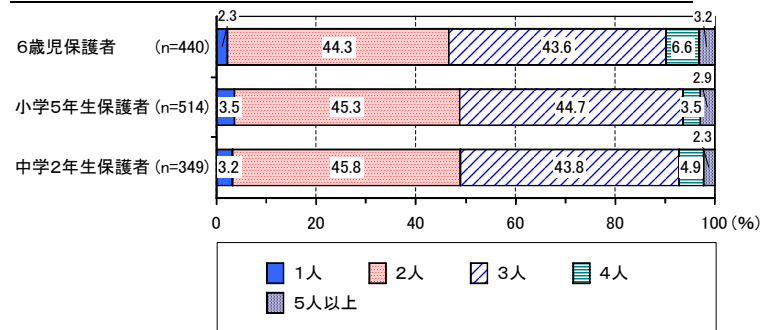
①子どもの人数(現状)

○「1人」が 15%程度、「2人」が 55%程度、「3人」が 25%程度。



②子どもの人数(理想)

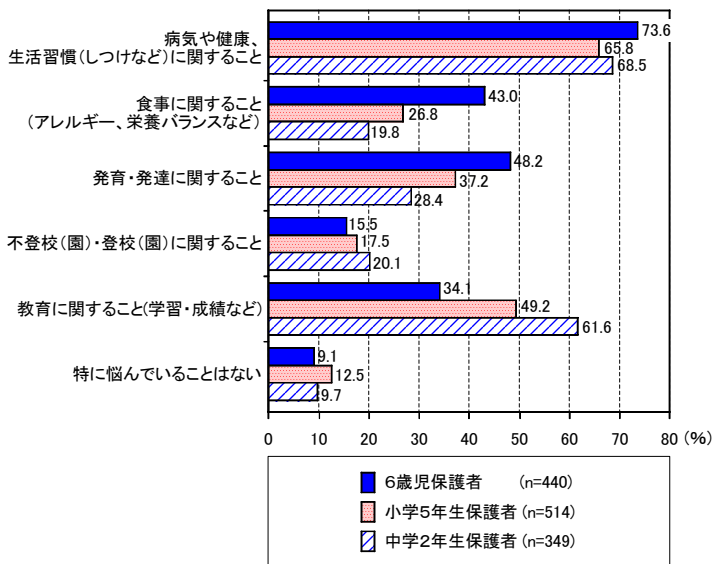
○「2人」が最も高く、「3人」がほぼ同率。
○「現状」と比べ、「1人」は低く、「3人」が高い。



(2)子育てに関する悩みについて

①子育てに関する悩み(子どもについて)【複数回答】

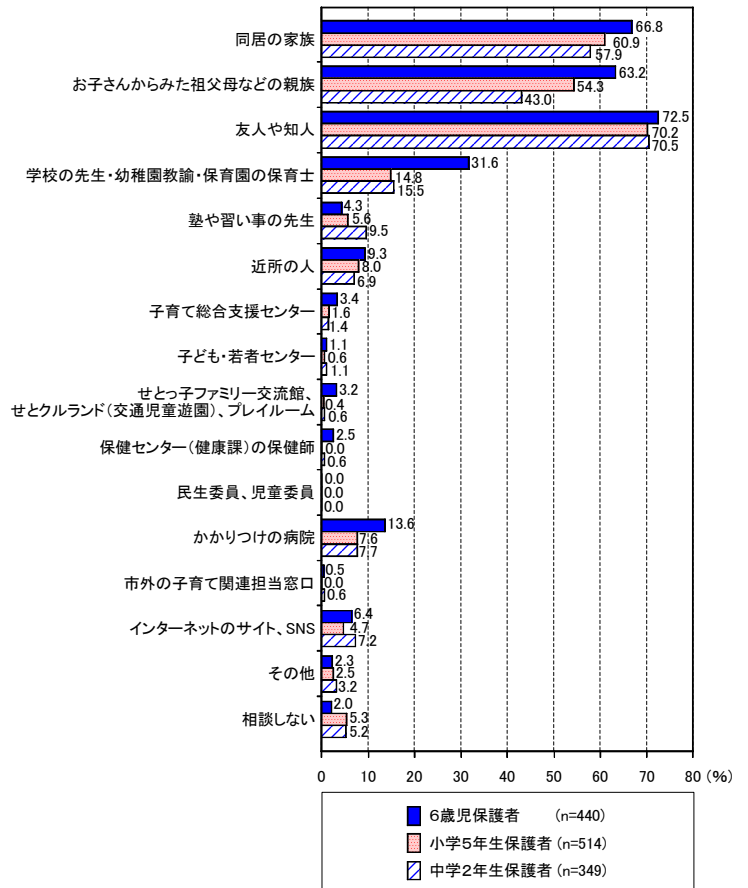
○「病気や健康、生活習慣に関すること」は、年齢・学年に関わらず高い。



②相談先【複数回答】

○「友人・知人」、「同居の家族」、「お子さんからみた祖父母などの家族」の順に高い。

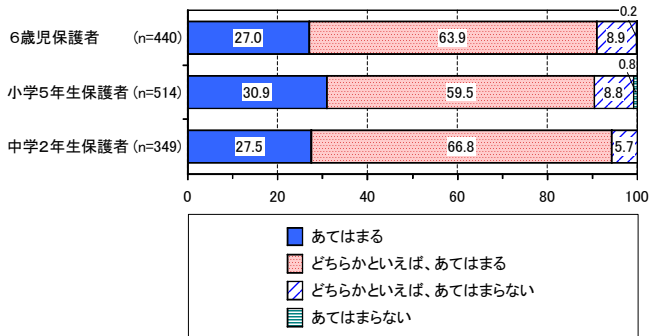
○「相談しない」は小5保護者、中2保護者で 5%程度。



(3)子育てに関する考え方について

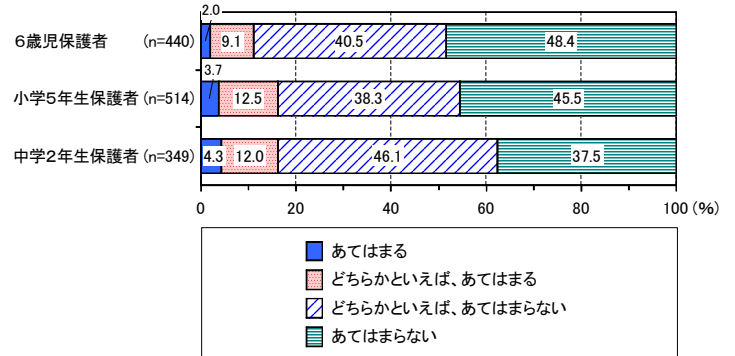
①必要な事は言うが子どもの意見や決定を尊重する

○“あてはまる”は90%以上。



②子どもには必要最低限のこと(衣食住)だけをする

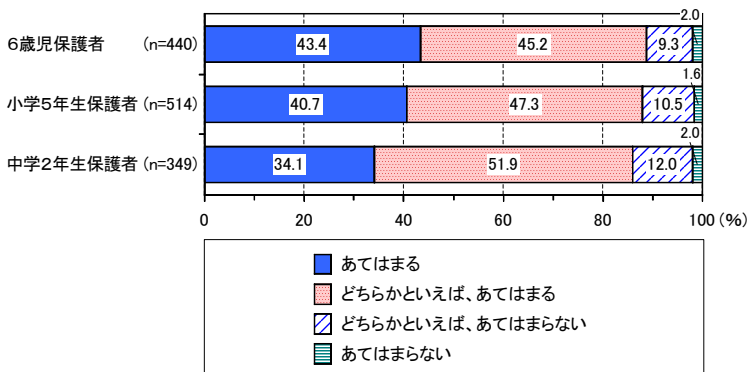
○“あてはまる”は10%程度ある。



(4)子育ての中での経験について

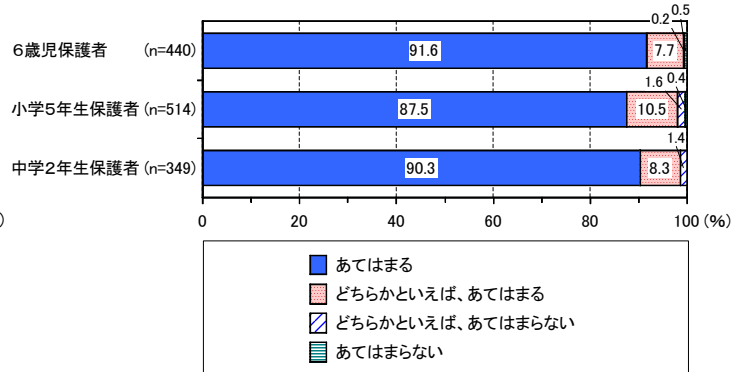
①家族としての絆が芽生えたと思える

○「あてはまる」は6歳児保護者で最も高く、子どもの年齢・学年が上がるにつれて低くなる。



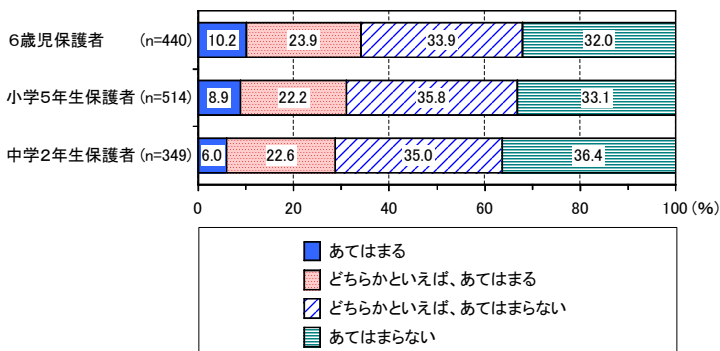
②この子を授かってよかったと思える

○“あてはまる”は90%以上。
○わずかながら、“あてはまらない”もある。



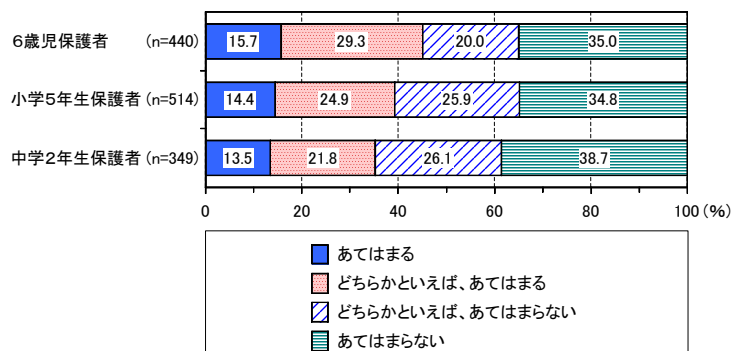
③子育ては孤独だと感じる

○「あてはまる」は6歳児保護者で最も高く、子どもの年齢・学年が上がるにつれて低くなる。



④つい感情的に子どもを叩いたことがある

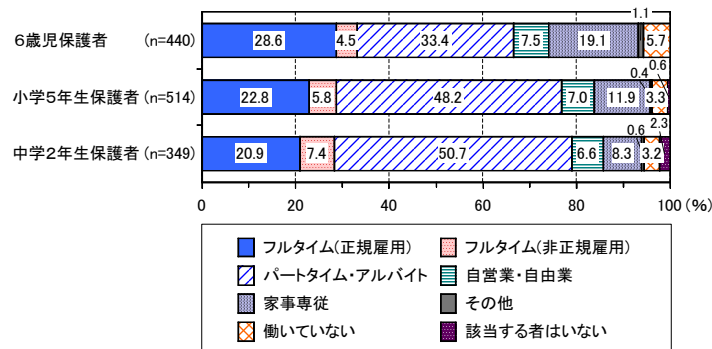
○“あてはまる”は6歳児保護者で最も高い。子どもの年齢・学年が上がるにつれて低くなる。



(5) 家庭の状況について

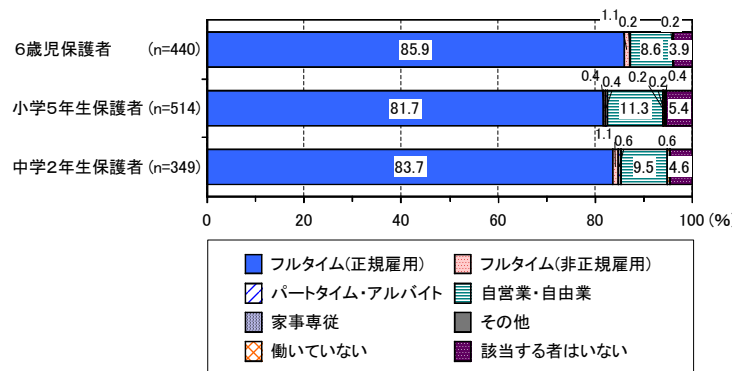
① 母親の就労状況

- 6歳児保護者は、「フルタイム(正規雇用)」、「パートタイム・アルバイト」がそれぞれ30%程度。
- 小5保護者、中2保護者は、「フルタイム(正規雇用)」が20%程度、「パートタイム・アルバイト」が50%程度。



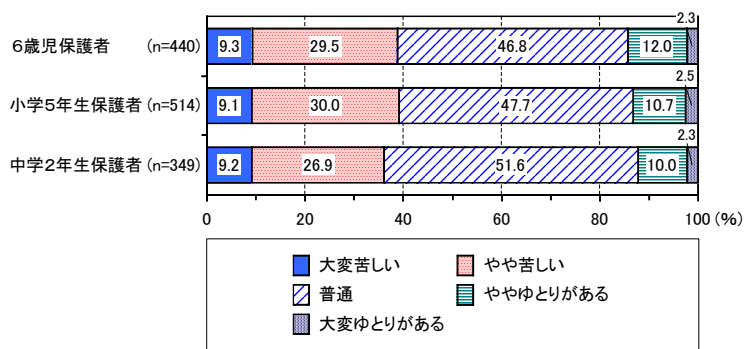
② 父親の就労状況

- 子どもの年齢・学年に関わらず、「フルタイム(正規雇用)」が80~90%程度、「自営業・自由業」が10%程度。



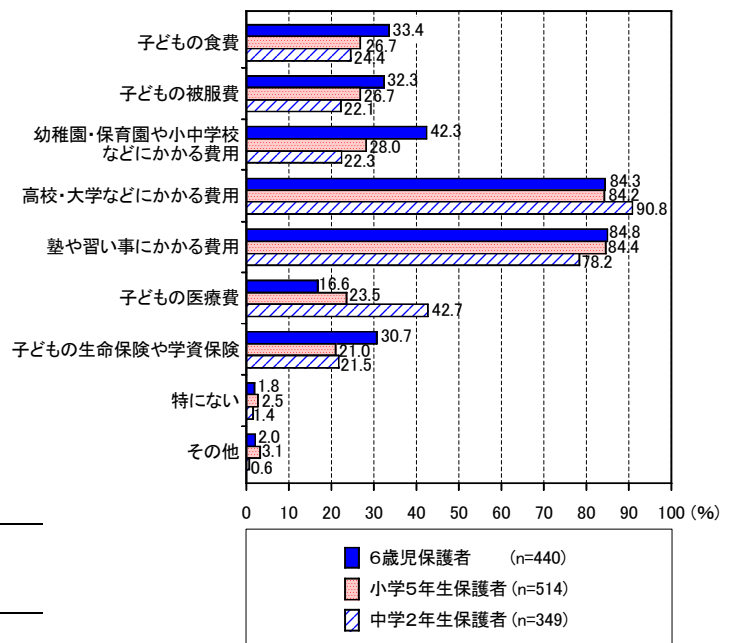
③ 暮らしの状況

- 「大変苦しい」が10%程度、「やや苦しい」が30%程度いる。



④ 子育ての費用で今後負担と感じる費用【複数回答】

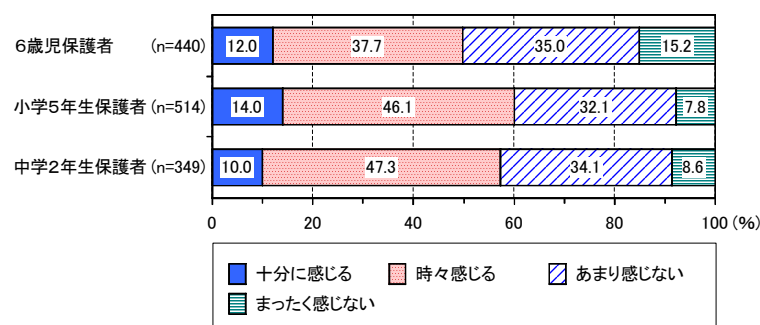
- 「塾や習い事にかかる費用」「高校・大学などにかかる費用」が高い。
- 「子どもの医療費」は、子どもの年齢・学年が上がるにつれて高い。



(6) 地域と子育てについて

① 子育てが地域や社会に支えられていると感じるか

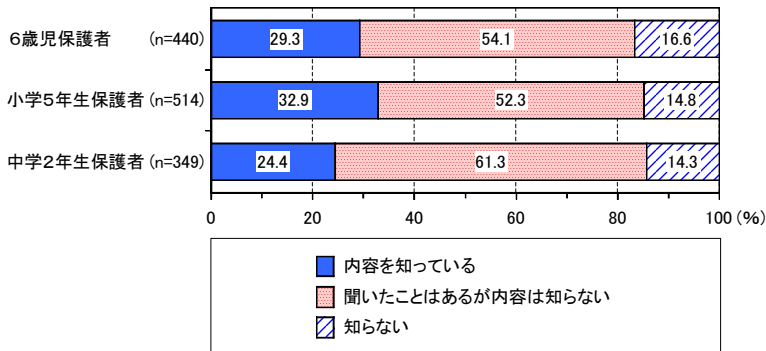
- 6歳児保護者は“感じる”“感じない”に二分している。
- 小5保護者、中2保護者は“感じる”が60%程度。



(7)子どもの権利について

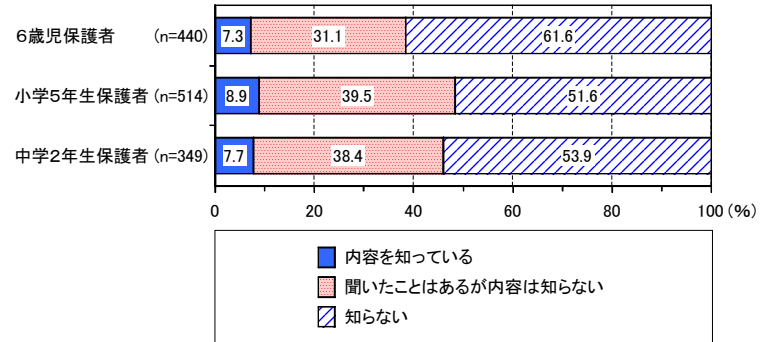
①子どもの権利の認知度

- 認知度(「内容を知っている」+「聞いたことはあるが内容は知らない」)は80%以上。
- 「内容を知っている」は、小5保護者が高い。



②瀬戸市子どもの権利条例の認知度

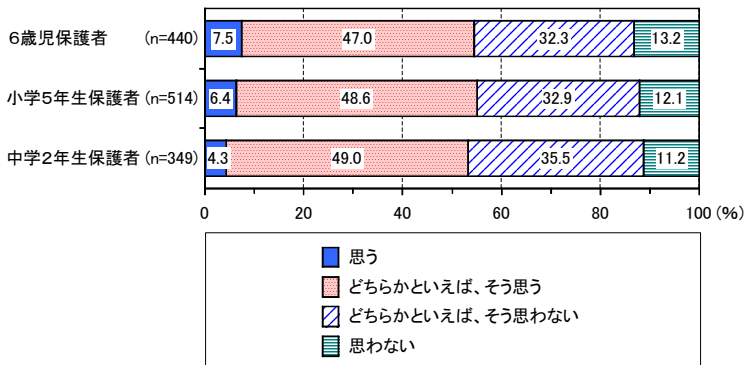
- 認知度(「内容を知っている」+「聞いたことはあるが内容は知らない」)は、40~50%程度。
- 「内容を知っている」は10%弱。



(8)瀬戸市について

①子育てに関する瀬戸市の相談窓口が整っていると思うか

- “思う”の割合は半数を上回る。
- “そう思わない”の回答も40%程度。



②友人・知人に対し、瀬戸市をおすすめするか

- “おすすめする”の割合は、半数を上回る。

